

日本子ども虐待防止学会第25回学術集会
ひょうご大会プレコンgress企画
「児童福祉領域におけるNETの活用」

日 時：2019年12月20日（金）19:00～21:00

会 場：神戸国際会議場（5階 503会議室）

（<https://kobe-cc.jp/ja/visitors/access/>）

講 師：森 茂起

（甲南大学文学部人間科学科教授／臨床心理学）

NET開発者のトレーニングコース（ドイツ、コンスタンツ大学）修了
対 象：医療・福祉現場等でトラウマを抱えるクライアント
に対する治療、援助を実践している、または実践に
興味がある臨床心理士、医師、施設職員などの専門
家、大学院生

定 員：80名

参加費：無料

ワークショップ趣旨

NET（ナラティブ・エクスポージャー・セラピー）は曝露療法と証言療法を統合したトラウマ関連障害の治療法である。社会的養護の下で暮らす子どもたちは、虐待、喪失、暴力被害など多くの逆境的体験を持つことが多く、物語的な自伝的記憶の形成、整理を目指すNETは、心理治療の有力な選択肢の一つと考えられる。本プレコンgressでは、NETの概略を紹介し、実践例を提示しながら、対象となりうる子ども、導入方法、有効性、課題などを考える。また、LSWの目的と比較検討することで、児童福祉における人生史の整理の意義を理解する。

内 容

講 義 「NET概説」

森茂起

実践報告 「児童相談所での取り組み」

服部 隆志(大阪府岸和田子ども家庭センター)

「児童福祉施設での取り組み」

大上玲衣子・中村有生(兵庫県立清水が丘学園 児童心理治療施設)

講師紹介

森 茂起(もり・しげゆき)

臨床心理士。専門は臨床心理学、トラウマ学。

甲南大学文学部人間科学科教授 甲南大学人間科学研究所長

- 著作:『トラウマ映画の心理学—映画に見る心の傷』(新水社、2002年)、『トラウマの発見』(講談社、2005年)、『埋葬と亡霊—トラウマ概念の再吟味』(人文書院、2005年)、『自伝的記憶と心理療法』(平凡社、2013年)、『「社会による子育て」実践ハンドブック』(岩崎学術出版社、2016年)、『フェレンツイの時代』(人文書院、2018年)ほか
- 翻訳:シミントン『ビオン臨床入門』(金剛出版、2003年)、フェレンツイ『臨床日記』(みすず書房、新装版2018年)、シャウアー他『ナラティブ・エクスポージャー・セラピー』(共訳:金剛出版、2010年)、シュトレーベ他『死別体験:研究と介入の最前線』(共訳:誠信書房)ほか

申し込み方法

メールにてお申し込みください

件名:「プレコンGRES NET 申込み」

必要事項:①氏名、②職種、③所属、④連絡先メールアドレス

申込み先: 下記アドレスまでお送りください。

*** 定員に達し次第締切らせていただきます。**

参加の可否はメールにてご連絡いたします。

注意: 携帯からお申し込みの場合、下記アドレスの受信許可設定をお願いします。

お申し込み・お問い合わせ先

NET研究会 Jaspcon プレコン事務局

(清水が丘学園 心理治療士 中村有生)

nakamurayou0830@yahoo.co.jp

Facebook ページ「日本NET研究会」もご参照ください。